

## 有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名 政策効果の分析システムに関する研究 II -港湾投資の効果計測に関する分析-	
2. 有識者意見の概要及び対応 有識者：政策効果の分析システムに関する研究会ワーキンググループの学識経験者 土木計画学研究発表会での聴衆	
意見の概要	意見に対する対応
関数形もよく表現でき、結果も概ね現実感覚と合致する数字となった。良い結果となったので、学会等で発表してほしい。	平成16年春の土木計画学研究発表会で、中間結果を発表した。また、平成17年9月のアジア交通学会で、最終結果を発表する予定である。
部分均衡モデルの需要関数、供給関数の説明変数は、いろいろな変数を試行錯誤しながら入れ込み、より再現性の良いモデルにしてほしい。	船腹量、GDPの変化等、利用者の需要やサービス提供者の供給に影響を及ぼすと考えられるいくつかの変数を想定して計算し、結果的に報告書中の説明変数が最もよく再現することがわかった。
データ数が少ないので、航路別時系列データをパネルデータとして扱って分析してはどうか。	パネルデータ分析も行ったが、結果的にうまく再現できなかったため、採用しなかった。
部分均衡モデルの各説明変数の値（弾力性）について、航路別に考察すべきである。	考察を行って、報告書に掲載した。